

小規模保育所を開設

施設間連携で子育て支援

つるみね福祉会（長野）

長野県岡谷市で児童養護施設・つつじが丘学園（旧称・塩嶺学園）を運営するつるみね福祉会が、今年度から塩尻市に小規模保育所を開設した。長年児童養護施設で培ってきたノウハウや専門性を生かし、保育所に通う子ども・保護者だけでなく、地域の誰もが気軽に利用できる「よろず相談所」としての役割を担うのが特徴だ。（濱本高佑）

未満児保育が課題

塩尻市の人口は6万6000人ほど。人口減少傾向にある中、県で2番目に人口の多い松本市のベッドタウンとして、住民が増加している数少ない地域のひとつ。直近は3年連続で4月時点の待機児童は0人だったが、年度途中の申し込みを加えて算出する10

小規模保育を選択

つつじが丘学園の川瀬勝敏園長は「児童養護施設開設70周年記念事業の一環で、県内各市に打診する中、本部のある岡谷市に隣接し、保育ニーズもある塩尻市での開設を決めた」と小規模保育所開設の理由を説明する。小規模保育所は、定員6～19人で0～2歳児に限られる。今回開設した郷原つつじ保育園は定員12人。開設初年度となった今年度は、定員より2人多い14人の子どもの預かっていく。

ともに育つ保育を

金澤理恵園長は、児童養護施設で20年以上働いた後、結婚・出産を経て企業主導型保育所にパート契約として保育士のキャリアをスタートさせた。子育てがひと段落し、正規の保育士として働きたいという思いが強くなり、職を探していたところ、児童養護施設時代から知り合いだった川瀬園長から声がかかった。保育士としての現場経験を

「新しい保育所というところもあって、子どもが成長する中で、職員も一緒に成長できればと考えています。」



一人ひとりに寄り添った保育ができるのも小規模ならではの

法人設立年	2001年4月 (児童養護施設つつじが丘学園は更生保護法人長野司法厚生協会の付設事業として1951年4月1日設立)
拠点数	4
職員数	正規 38人 非正規 12人
平均勤続年数	10年
平均年齢	28歳
平均賃金	29万5110円
人件費率	66%

施設間連携で支援

保育所の施設建設費は約8200万円。このうち補助金は6052万円だった。備品購入など整備資金の一部はクラウドファンディングで集めた。「一法人一施設」の経営では、資金調達の負担が大きかったのに加え、多くの人の理解を得た上で地域の総合的な子育て支援の場としたかったからだ。当初100万円を目標に始めたが、最終的には166万2000円が集まった。資金は、テーブルなどの備品や園庭の砂場、遊具の整備費用に充てた。

〈39〉

小児科医 十河 剛の 乳幼児の保健



例年ですと11月ごろからノロウイルスによる嘔吐・下痢症の流行が始まり、12月から1月ごろがピークとなり、その後

嘔吐・下痢症の原因ウイルスはロタウイルスへと移っていきます。「例年です」と書いたのは、新型コロナウイルスの流行により、私たちの生活スタイルも変化してきているからです。ノロウイルスもエアロゾル感染をするので、新

ノロウイルス

十二指腸潰瘍の原因に

型コロナ感染予防策はノロウイルス感染予防にも有効であると考えられます。ただし、ノロウイルスに対しては、アルコール消毒の効果はありません。嘔吐や下痢で床などが汚れた場合には、次亜塩素酸ナトリウムで消毒

がはじまつたら速やかに与えて、水分と塩分（ナトリウムなどの電解質）を同時に補充することによって、多くの場合、脱水は予防でき、受診の必要もありません。経口補水液を上手に飲ませるコツは、嘔気や嘔

吐があるときは少量・頻回に与えることです。「ちびちび・ごくごく」で検査してもらって私が経口補水液の飲ませ方を解説した動画が見つかりますので参考にしてください。しかし、経口補水液を飲ませていても、どんな元気がなくなっても救急

受診が必要となる場合があります。中でも吐物に黒褐色の粒々、いわゆる「コーヒー残渣様」のものが混じる場合には必ず受診をして下さい。黒褐色の粒々の正体は胃や十二指腸からの出血です。血液が胃酸で酸化され、黒つ

きどき経験します。中にはショック状態で来院する症例もあります。嘔吐を繰り返すと、食道と胃の接合部が裂けて出血するマロリー・ワイズ症候群を起すことがあります。そして、マロリー・ワイズ症候群でも、コーヒー残渣様をみられる場合があります。私たちが調べた限りでは、特殊な遺伝子変異をしたノロウイルスが胃・十二指腸潰瘍を起こすわけではありません。電子顕微鏡で十二指腸粘膜からノロウイルスが検出された症例もあり、ウイルスによる粘膜障害だと考えています。

冬場の嘔吐・下痢症流行期間にコーヒー残渣様の嘔吐が見られた場合、とくに経口補水液を飲ませていても元気がほとんどなくなっていく場合には必ず受診しましょう。そごう・つよし 済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科副部長